

第16回栃木活性化サロン

「企業と労働者のグローバル化と栃木県の活性化」

国際化・ボーダレス化が進む現在、海外情勢が、日本さらには栃木県内に与える影響は、ますます大きくなっている。そこで、県内に影響を与える様々な海外情勢のうち、業態横断的に影響のある企業のグローバル化・外国人労働者にスポットを当て、これらが県内に与える具体的な影響、企業としての課題やその対応について理解を深める機会とすべく、基調講演をいただいた。

第1部

「ジェトロ栃木の取り組みと栃木県内企業の海外展開事例 ～具体的成果を中心として～」

基調講演 講師

(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)
栃木貿易情報センター所長 島川 博行 様

<経歴>

2006年に日本貿易振興機構に入構後、海外勤務等を経験し、さらに、経済産業省アジア新産業共創政策室室長 兼 スタートアップ創出推進室総括企画調整官として公務も経験され、多岐にわたる業務に従事。



第2部

「県内外国人労働者の状況、及び今後の雇用について」

基調講演 講師

とちぎ外国人材受入支援センター
外国人材コーディネーター 堀江 茂行 様

<経歴>

栃木県栃木市出身。1983年に日本ヒューレット・パカード社に入社後、1999年にタイに移住。タイでは多くの日系現地法人の立上げに携わり、2019年帰国後、県内企業の外国人材受入支援に取組み、外国人雇用労務士の資格も取得。



(独)日本貿易振興機構とは？

- ・経済産業省所管の独立行政法人。
- ・世界70都市以上、全国に広がるネットワークを活かし、日本経済のさらなる発展と地方創生に貢献。日本企業の海外輸出・海外ビジネスへの拡大を支援。

講演概要

- ・人口減少・高齢化に伴い、日本の経済力も停滞し国内市場が縮小していく中、企業は、海外需要を取り込み、持続的な成長へつなげなければならない段階にある。
- ・中小企業が**輸出に取り組むことで、海外企業との競争力を培い、売上向上・販路拡大・生産性向上といった成長促進**につながる。
- ・「海外進出は視野に入れていなかったが、海外のバイヤーから自社製品が高く評価され、売上向上につながった企業」「“海外進出”というインパクトにより、国内で再評価された企業」等、県内企業の海外進出事例を多数紹介。

とちぎ外国人材受入支援センターとは？

- ・令和7年に公益財団法人栃木県国際交流協会内に設立。
- ・外国人材受入支援コンシェルジュ2名と共に、栃木県内企業等における外国人材の円滑な受入れや適切な活用の促進のため、企業からの相談対応や情報提供を行う。

講演概要

- ・人手不足による倒産は3年連続で過去最多を更新。人材確保が難しい中、県内外国人の労働者数は増加傾向にあり、住民数も過去最多。
- ・**就業後のリアリティショックを防ぐため、面接の仕方、及び文化や教育レベルの違いを理解したコミュニケーション等、外国人労働者を受け入れる企業側も工夫が必要。**
- ・外国人労働者受入れに関する業種別の課題(人間関係構築の難易度が高い・受入側の高齢化による外国人への心理的な抵抗感等)や、外国人労働者数の推移のほか、在留資格の分類や就労までのフロー等を紹介。